



2017年(平成29年)11月発行

発行：安藤和寿 〒811-2304 粕屋町仲原 3-8-1
TEL/FAX：092-938-4643 携帯：090-7166-4917
ホームページ：k-ando.net E-mail：ando@k-ando.net



『あんどわ』は、フランス語の『1、2、3』の意味で、
安藤かずひさと共に粕屋町を永遠(とわ)に良い町にするために
一歩一歩、着実に歩みを進めたいとの思いを込めています。



福岡県粕屋町議会

9月の議会報告

安藤かずひさの一般質問

防災無線の戸別受信機設置を

杉野・協働のまちづくり課長／将来的な検討課題と考えています

安藤：九州北部豪雨災害を教訓とし、粕屋町でいつ何時に起こるかわからない災害に対し発生した場合、災害を最小限に止めるためのインフラ整備や防災意識の徹底を図ることが自治体に課せられた責務であると考えているが。

因・町長：粕屋町では福祉が先行し、インフラ整備には積極的に取り組んでいないのが現状です。

近年の災害は桁外れた規模で発生しますので、完全に防ぐことはもはや不可能に近いと考えております。
人命尊重を重視して行きたいと思っております。

安藤：現在の伝達システムは十分か。

協働のまちづくり課長：粕屋町の緊急通報関係のシステムとしてJ-ALERT(北朝鮮のミサイル問題で出てきているもの)防災行政無線、テレビ、ラジオ、ホームページ、広報車による呼びかけなど視覚、聴覚のどちらでも媒体を使用するようにしています。

安藤：土砂災害、浸水区域に戸別受信機を

協働のまちづくり課長：高齢者の方、浸水、土砂災害区域、避難行動要支援者1200名位、仮に導入するとしても個人の自己負担の問題もあるので検討課題とさせていただきます。

さくらホールの稼働率向上を

新宅・社会教育課長／創意工夫を重ねていきたい

安藤：28年度の稼働率は何%か。

社会教育課長：稼働率は61%、月平均稼働日を29日とした場合17.5日の稼働です。

安藤：24年9月決算は稼働率53%で今回61%の稼働率をさらに向上させる施策として、開館から13年が経過。
状況に応じた使用料にするなど、見直す時期に来ているのでは。

社会教育課長：仮称の文化振興基本計画策定委員会を組織し委員会の中で見直しを検討したい。

安藤：2015年1月25日さくらホールで行われた海援隊ライブのチケットが確保できず、残念な思いをされた町民の方は数多い。

改めて追加公演を要望します。